

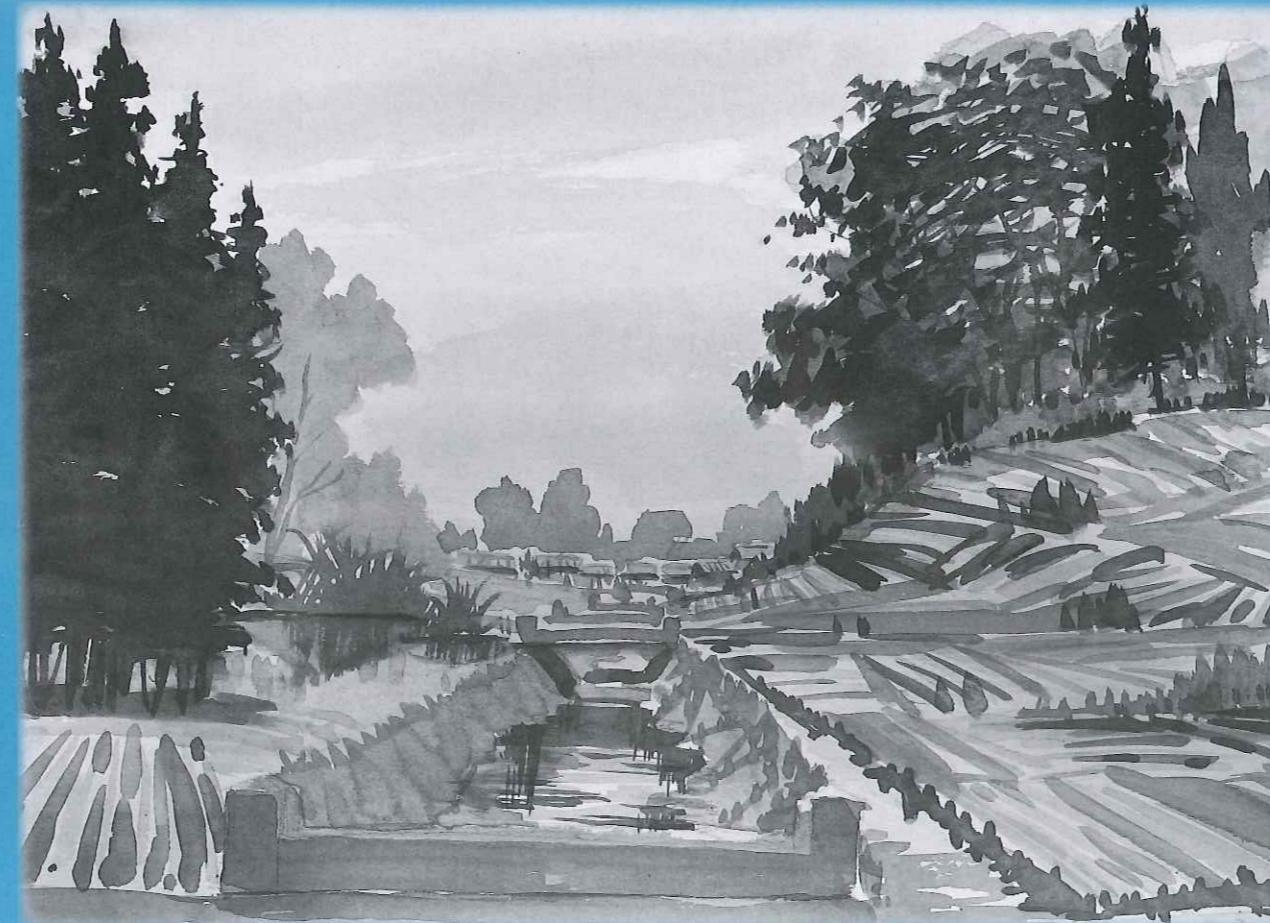
Hi
~m

令和5年12月15日発行（毎年7月・12月・3月発行）

新春
第162号

あちあい

責任者 谷口 俊頭 企画・編集 落合第二地域センター管理運営委員会 広報部
〒161-0032 新宿区中落合4丁目17番13号 Tel. 03-3951-9941 Fax. 03-3951-9310



「昭和初期の西落合」
(水彩画2枚組)1994年
加藤清 画

岸にはガマの穂がたくさんはえていて、
夏にはカンゾウの黄色い花がいっぱい咲いていた。
蛍がたくさん飛んでいた。(作者談)

※加藤さんの詳細記事はP4です



町会模擬店



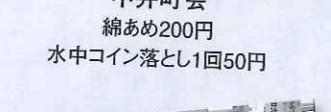
中落合三丁目辻町会
野沢菜漬350円
お菓子すくい1回100円



上落合西町会
焼きそば1パック300円



上落合中央町会
メダカ3匹100円



中井町会
綿あめ200円
水中コイン落とし1回50円



西落合町会
射的ゲーム3発200円
くじ引き1回100円
ポップコーン1袋100円
高遠亀まんじゅう3個400円



落合親和町会
ホットドッグ2個入り250円



いずみコース



イベント告知

新春日本の遊び 令和六年一月十三日(土)
会場 落合第二地域センター
※詳細は、町会掲示板、地域センター、
同ホームページなどでご案内予定です。

落合第二2023センターまつり

11月12日(日) 9:30~15:30開催



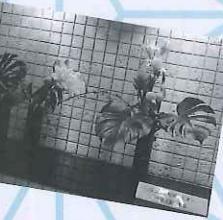
ハープ・チェロ・ティンホイッスルの演奏



谷口会長

3階多目的ホールでは吉住区長等の来賓挨拶の後、ハープ(岩城晶子)・チェロ(大澤哲弥)・ティンホイッスル(落合崇史)の演奏会が行われ、続いて登録団体13団体がステージ発表を披露しました。2階では11時から落合地区6町会が模擬店で物販を開始。子ども連れの家族から様々な世代が詰めかけ、大変な賑わいとなりました。

今年は体験コーナーをやめ、自転車での来館を控えていただくなど例年と異なる試みを実施。曇天でしたが、総勢843名がイベントを楽しみました。



吉住区長

ステージ発表



お気楽長屋in落合



指笛ゴールデンウィスラーズ



峰文流護身武道を学ぶ会



プチ・バレリーヌ



大道塾新宿西同好会



フラサークル ピカケ



葛ヶ谷クラブ



西落合クラブ

十月七日(土)午後一時半~三時半、多目的ホールにて開催しました。(二〇一九年十月の台風による中止以来です。事前申込みで十五名が参加し、個性を発揮した熱唱ぶりで生き生きとカラオケを楽しみました。



カラオケを楽しむ会



八月九日(水)午後一時半~二時半、三階多目的ホールで、事前申込み(親子または子どものみ)の六〇名が参加しました。自分たちが作ったサンドは冷やさないとカットできないため、持ち帰りとし、委員があらかじめ作ったサンドを試食しました。

夏休み簡単おやつ作り「フルーツサンド&ロールサンド」

三階多目的ホールで、事前申込み(親子または子どものみ)の六〇名が参加しました。自分たちが作ったサンドは冷やさないとカットできないため、持ち帰りとし、委員があらかじめ作ったサンドを試食しました。

**健康講座 健康は□(くち)からⅢ
「歌で健康寿命をのばそう!その2
一歌はフレイル防止の特効薬!**

十月十五日(日)午後二時~三時半、多目的ホールにて事前予約で五二名が参加。講師は、目白大学人間学部子ども学科の山崎英明先生(当センター管理運営委員会総務部員)。一部は発生のメカニズム、二部は歌を上手に歌うポイントをお話しされ、上手い歌い手として「昂の谷村新司、「喝采」の、ちあきなおみ、「バヌム、平浩二」を挙げました。翌十六日に谷村さんの逝去のニュースを聞くとは思いました。

※詳細は、町会掲示板、地域センター、同ホームページなどでご案内予定です。

かくわく 落合

千川上水·落合分水



落合水物語（おちあいの水と生活）

落合では戦前までは農業をしていました。昭和の初め頃までは少ないけれど水田もあり、畑では麦や大根などを作っていました。農業に欠かせないのは水です。江戸時代に千川上水が開かれ、そこから落合に分水が引かれて葛ヶ谷（西落合）の田畑を潤しながら目白大学西の崖を廻つて妙正寺川に通じていきました。江戸時代には水の配分のことで隣村と争いが起きたこともありました。中井御靈神社には日照りのときに雨乞いをしたむしろ旗が残っています。上落合の最勝寺には「水くれ地蔵」というお地蔵さんも残っています。水はとても大切なものの、必要なものでした。

落合分水は細い流れでしたが、大正時代、葛ヶ谷の耕地整理のときには橋に名前も付けられていました。最後の農業が見られた昭和三〇年代の終わりまでは流れを見ることができましたが暗渠（下水道）になりました。川が流れていたところは少し道幅が広くなっているのでよく見る所と流れていた当時がわかります。

参考
武藏学園記念室
練馬区豊玉上一―十六―
(公開は月・金 十時・十六時)
『ふるさとは西落合一・二』
西落合まちづくりの会 一〇〇一・二年刊

早稻田大学費効会員承認手

西落合在住の岡村和恵さんが、父・川田晴久氏の遺品を早稲田大学坪内博士記念演劇博物館に寄贈され、賛助会員の称号を授与されました。

表紙の風景画を描かれた加藤清氏を西落合のご自宅に訪ねた。清氏は一九三〇年（昭和五年）生まれ。九三歳の現在も現役で作品作りを続けている。

表紙の絵は一九九五年発行「落合の思い出」に掲載する絵として加藤氏が記憶を頼りに現在のアイテラスとゴルフ練習場の間を流れる川沿いの風景を描いたもの。青少年が西落合四丁目の自宅から、落三小まで、毎日通つた川沿いの道だ。当時は水洗い場があつたり、子どもたちの大好きな駄菓子屋さんもあつたそうだ。川沿いの沼ではどうじょうもとれ、まわりは畑で、今では想像できないような田園風景が広がっていた。

子どもの頃の見ていた景色を記憶だけで描かれたものだが、まるでその場にいてスケッチされたように生き生きと描かれている。

加藤氏が絵を志したのは二三歳のとき。都立六高専（現・航空高専）機械

科を卒業後、小学校の同級生のお父さんである画家の池上浩氏に弟子入りし、デッサンから厳しく指導を受けた。家族の反対を押し切って絵の道に進んだその時のいきさつは「ふるさとは西落合[二]」に詳しく載っている。二四歳の時に日展初入選。三二歳の時に、恩師池上先生とともに新しく発足した新世紀美術協会に入会。新世紀美術協会委員となり、現在も一〇〇号(一六二〇×一三〇三ミリ)の大作を毎年開催される団体展に出品している他、小品を集めた個展も開催している。

最近のテーマは「円かの賦」(*冥
真)。「『円』は優しそうに見えてなか
なか、手ごわいんです」とその世界に
没頭している。製作に「妥協する」と
いうことはないようで昔の作品に手を
入れることもしばしば。

かと思う。

美しい日本の四季 冬の句
—落二句会—

戸津和子・藤川裕子

弓始頭を天に吊る心
ありたけの玩具浮かべる初湯かな

お千菓子は干支の竜の駒初点前
初縫は赤糸長く刺子さす

臥竜梅晴れて天地に香り立つ
零したる床の雪花菜や寒の明け

野村 晃

おちあいで活躍する人々　画家 加藤清氏

美しい日本の四季 冬の句



宇田川
典文

お千葉子は干支の竜の駒初点前
初縫は赤糸長く刺子さす

かりうはい
臥竜梅晴れて天地に香り立つ
こぼ
零したる床の雪花菜や寒の明け

戸津和子・藤川裕子

する一〇〇号のキャンバスを枠に張つたり、外したりはもちろん、巨大な円を描くコンパスまで手作りしてしまう。そうだ。



落合第二中

赤土祭

落合二中では、10月21日(土)、運動会と並ぶ二大行事「赤土祭」を行いました。プログラムは弁論大会、英語スピーチ、合唱コンクール、吹奏楽部の演奏の4つで、今年度は来賓・保護者の皆様等にも参観していただき、生徒たちにとって大きな励みになりました。ご参観いただいた皆様、ありがとうございました。

「赤土祭」を再開して2年目の今年、特に合唱においては、マスクを外して歌うことに慣れない生徒たちでしたが、1学期の運動会で培ったクラスの団結力を生かし、実行委員を中心に練習に取り組みました。本番、どのクラスもこれまでの練習の成果を出し切ろうという気持ちが伝わってくる演奏で、それぞれクラスの色を出した発表ができました。

主幹教諭・音楽科・赤土祭実行委員長 一万田 裕美



合唱コンクール



英語スピーチ

落合第二中学校避難所開設訓練

10月28日(土)、4年ぶりに避難所開設訓練が行われました。落合二中には朝早くから地域・新宿区・消防署・消防団の方々に仮設トイレ設置、応急救護訓練、初期消火訓練、炊き出し等の体験コーナーを設置いただき、本校1年生や地域の参加者が貴重な体験をすることができました。「災害が起ったとき、中学生が大きな力を発揮してくれることを期待している。」そう話してくださいました方々の思いを中学生がしっかりと受け止める訓練になったことだと思います。

副校长 關口 智子



アルファ化米の炊き出しとパック詰め



仮設トイレの設置訓練

落合第六小

「自分たちでも未来は変えられる！」
という学びを！

本校は、10月27日(金)に研究発表会を開催しました。

『楽しみに思える未来を創造する児童の育成～「みらい科」「教科学習」を通して～』のテーマの下、「令和元～5年度 文部科学省教育課程特例校」並びに「令和4・5年度 新宿区教育委員会研究発表校」の指定を受け、研究・研修を進めてきた集大成の発表となりました。

本校が研究している「みらい科」は、総合的な学習の時間をベースに、他教科などと関連付け、「もっと教科を越えて・もっと学年を越えて・もっと他者や地域と協働して」学ぶ領域として検討・実践してきたものです。研究としては今年度で一区切りとなります、これから予測困難な未来においても「自分で考え、判断し、行動できる」児童を育成することを念頭に、今後も研究・研修・研鑽を深めていきたいと思います。

研究主任・図画工作科 杉山 聰



落合第五小

落五まつり 10月7日(土)開催

今回初めてPTA会長として参加した落五まつりだったので、本番までの過程を垣間見ることができました。

その中で一番心に残ったものは、実行委員の方々が子どもたちのために一生懸命になっている素敵な姿でした。知識や技術を遺憾なく発揮していただき、素晴らしいものが完成したのではないかと思います。

その他には先生方のライブ！これにはまいりました。心を踊らされ、目頭が熱くなりました。こんなにも素晴らしい先生方なら100%信頼して子どもを預けられると確信しました。

また、各町会や各ボランティア団体、警察署、消防署、消防団と皆さんのがいに盛り上げていただいたお陰で、落五まつりは大盛況で幕を下ろすことができました。

この素晴らしいバトンを次に繋いでいくためにも保護者、地域、学校が『子どもたち』をキーワードに足並みをそろえていくことが大切なことを感じさせてもらえたイベントでした。

落合第五小学校PTA会長 鈴木 恒兵



先生方によるシークリットライブ

日光で学んだ大切なこと

10月11日(水)から13日(金)の2泊3日で、6年生が日光へ移動教室に行きました。日光の様々な文化にふれながら、雄大な自然の中で過ごす2泊3日は、長いようであつたという間でした。「感謝をもって、楽しく思い出に残る移動教室にしよう」というスローガンを掲げ、3日間を過ごしました。各所での挨拶や配慮のある行動を見ていると、感謝の気持ちを伝えようとしているのがよく分かりました。そして、何といつても仲間への感謝です。きっと1人だけではここまで楽しめなかつたのではないかでしょうか。一緒に笑ってくれる仲間、困ったときに助けてくれる仲間がいてこそこの移動教室だと思います。この気持ちを卒業までもち続けて、仲間を大切に過ごしていってほしいです。

6年生担任 酒井 翼



宿舎にて、入館式



湯の湖にて、朝の「ヤッホー！！」

落合第三小

伊那農家民泊移動教室

7月5日(水)～7日(金)に、6年生の伊那移動教室がありました。新型コロナウイルスの影響もあり、民泊として参加することは、落三小として初の試みでしたが、15軒もの農家の方々がご協力ください、大自然での生活を満喫することができました。自然の中で遊んだり、自然の食材を食べたりした農家民泊の児童の思い出をお届けいたします。

【子どもたちの声】

- ・じゃがいも掘りなどの農業体験やスイカを食べたり、夜には花火もしたり楽しかったです。
- ・自分たちで切った木で釜戸でご飯を炊きました。いつも家で体験できない事が出来ていい体験になりました。
- ・普段体験できない焼き窯で自分たちでピザを作ってたくさん食べたことが楽しかったです。
- ・自分たちでカレーを作って、外で食べて美味しかったです。
- ・ソースカツ丼の味がおいしくて、作るのが楽しかったです。あと花火がきれいで楽しかったです。
- ・最初に行った動物園。その後行ったソフトクリーム、橋、公園、農業体験、ソースかつ丼、花火が楽しかったです。
- ・自分たちで収穫した野菜は、いつも以上においしかったです。
- ・昼間は沢遊びをしたり、夜は花火をしたり、伊那の民泊はとても心に残りました。
- ・バーベキュー・沢遊び・滝、また、行きたい。今行きたいぐらい楽しかったです。
- ・東京では、なかなか体験できないことがたくさんありました。特に、ラズベリー狩りが思い出に残っています。
- ・アイスを食べ、川で遊び、野菜を収穫したことが、最高の思い出になりました。
- ・豊かな自然や楽しい生活を体験することができました。準備をしてくださった民泊の方々に感謝しています。
- ・自分たちで火を起こし、今まで料理をしたことが、最高に楽しかったです。
- ・BBQや花火、星空がとても綺麗で、忘れられない日々を過ごしました。

6年生担任 下野 剛
佐藤 和貴



農家さんとの出会い



つり橋を渡る様子



沢遊びの様子

令和5年度 落合第二地区 コミュニティスポーツ大会結果報告

10月1日(日)、落合第二地区コミュニティスポーツ大会が落合第六小学校で開催され、延べ300人近くの方がスポーツの秋を楽しみました。

令和5年度は、輪投げ、ボッチャ、ユニカール、パンつかみ競争の4種目を実施。どの参加チームも、いきいきと競技に取り組み、白熱した試合を繰り広げていました。



輪投げ

ボッチャ



ユニカール



パンつかみ競争

種目	優勝	準優勝	第3位
輪投げ	60歳以上の部 西落合クラブ A	辻町レディース B	葛ヶ谷クラブ C
	最多得点：宮川 重子 (92点)		
	一般の部 輝綜斗	すえっこーず	いけいけフルーツポンチ
最多得点：西澤 輝信 (34点)			
ボッチャ	落三 A	ブラックスマッシュ	しんわどっかり
ユニカール	落三 teachers	落六 teachers	落五 teachers

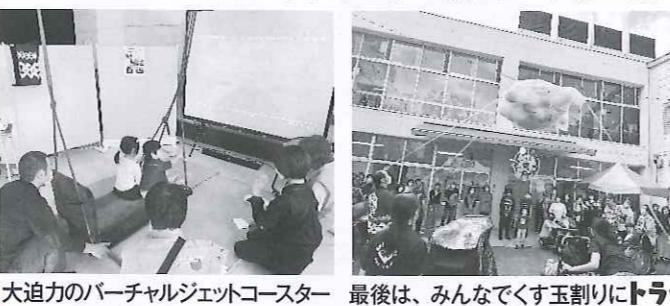
第44回 あゆみ祭実施報告

10月21日(土)、『第44回 あゆみ祭』を実施しました。今年度は、『トライ』～色々なことをやってみよう～がテーマ。重度障害者が利用するあゆみの家は、地域交流・共生の発信場所になるべく、1階から屋上まで施設全体を開放しての開催にトライしました。

早稲田大学ラグビー部によるラグビ一体験、吊りブランコとプロジェクトによるバーチャルジェットコースター、最新の福祉機器体験など、大人から子ども、障害者、多くの方が初めての体験に楽しくトライしてくれました。

今後も『楽しみ』を共有する中で障害や福祉施設の存在を多くの方に知ってもらえたうれしいです。

あゆみの家 所長 中村 拓



大迫力のバーチャルジェットコースター 最後は、みんなでくす玉割りにトライ

コミュニティ誌「おちあい」は全て再生紙を使用しています。

落合第二地区青少年育成委員会

親子ハイキング～科学技術館見学～

10月15日(日)、4年ぶりの開催となった親子ハイキングでしたが、当日はあいにくの雨模様。行き先を八国山から科学技術館に変更して実施しました。

69名の参加者は、電力、建設、家電などさまざまな分野をテーマとした展示ブースを回り、展示物を見たり触れたりしながら思い思いに楽しんでいました。



「鉄」の展示ブースでスティールパンの演奏に挑戦